

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4年後期	4	1	必修
担当教員			
建築学科全教員			
添付ファイル			
講義概要	・セミナー2に続き、研究室に配属された学生を対象に、教員全員が少人数クラスを担当して、各研究専門分野に則した指導を行う。担当教員それぞれの分野に応じて随時特徴的な演習方法がとられる。 ・住居論、建築計画、造形論、構造計画論、設備計画論、建築材料論・生産論などの各分野の基本理論をさらに展開し、学生各自が独自の論理的考察が行えるようにする。この中で、論文講読や作品評価も行う。 ・教員を含めた構成員の中で討議を行い、独創性についても身につける。		
授業計画	各研究室の指導教員がそれぞれの方法で実施する。		
授業形態	・スケジュールについては指導教員と協議のうえ適宜定める。 ・アクティブラーニング：①:13回、②:5回、③:5回、④:5回、⑤:5回、⑥:3回		
達成目標	a. 演習の内容を理解し、プレゼンテーションできる。 b. 他者の発表に対して質問するなどグループ内で研究や演習の内容を討論できる。		
評価方法・フィードバック	・研究・演習の成果50%、取組む姿勢30%、プレゼンテーション20%の割合で総合評価する。 ・原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内やWEB等を通じて行うが、具体的な方法・タイミングなどは指導教員より都度伝える		
評価基準	・成績は「合格」または「不合格」とし、総合点が100点満点で50点以上の者に単位を与える。		
教科書・参考書	・各専門分野の文献ならびに指導教員が配布する資料		
履修条件	・特になし。		
履修上の注意	・各研究室の指導教員の指示による。		
準備学習と課題の内容	・演習の内容について予め確認し、概要を把握しておくこと。 ・毎回の予習復習時間は平均1.5時間程度であるが、開講スケジュールなどによって異なることから、必要に応じて指導教員より都度伝える		
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:30%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:20%		
DP1 知識・理解			
DP2 思考判断			
DP3 関心意欲			
DP4 態度			
DP5 技能・表現			